



解	禁	指	定	な	し
平	成	29	年	3	月
				1	日

多治見市役所
国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

多治見市の生活道路で『ハンプ』による実証実験を行います
～ 「暮らしの道」の安全対策に向けて ～

記者発表資料

1. 内容

多治見市道011500線では、朝夕のピーク時に、多治見市から土岐市へ向かう抜け道として、小中高の学生が通学する横を、30km/h以上のスピードを出した車両が数多く走行していることが、国土交通省の分析したETC2.0プローブ情報から確認され、交通事故を未然に防ぐため、速度抑制対策が必要となっています。

このため、生活道路の安全対策の一つとして推進している「ハンプ」を多治見市内で初めて試験的に設置し、速度抑制の実証実験を行うものです。

実証実験では、その効果を検証し、多治見市において本格的な導入に向けた検討をして参ります。

2. 設置期間

平成29年3月6日（月）～平成29年3月17日（金） 12日間

3. 場所

坂上地区(市道011500線・岐阜県多治見市坂上町9丁目)(別紙参照)

4. 資料 別紙

※取材を希望される報道関係者の方は、下記に問い合わせください。

添付資料 1 枚

発表記者クラブ

多治見市政記者クラブ、可児記者クラブ、恵那記者会、中津川記者会、日刊建設工業新聞、日刊工業新聞社、建通新聞社、建設通信新聞

問い合わせ先

○設置工事担当	多治見市役所 建設部	道路河川課長	知原 賢治	TEL 0572-22-1111 FAX 0572-25-7055
○実証実験担当	国土交通省 多治見砂防国道事務所	副所長	秋田 修	TEL 0572-25-8020
		道路管理課長	岩田 成人	FAX 0572-23-7236

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

～多治見市坂上地区 実証実験～

実験の目的

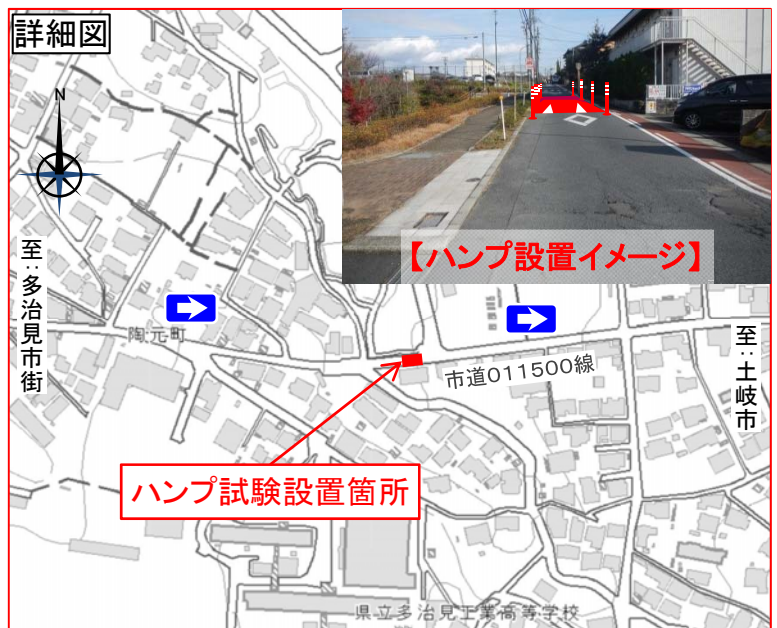
小学校の通学路に指定されている本路線は、児童の通学のほか、近隣の中学校、高校に通う生徒が多数利用しているものの、歩道が無いため、多治見市から土岐市へ抜け道として利用している車両が、歩行者のすぐ横を、スピードを出して走行していることが、国土交通省が分析したETC2.0プローブ情報から確認がされました。

交通事故を未然に防ぐことため、速度抑制対策を目的とした「ハンプ」を試験的に設置し、抜け道として利用している車両の速度低減効果などを検証します。

実験の概要

ハンプ設置箇所

多治見市坂上町 市道011500線



国土地理院の電子地形図25000を掲載

実証実験の内容

ハンプ設置前後における効果を検証するため、ETC2.0プローブ情報の分析し、交通量、騒音調査を実施します。また、実験後に周辺住民の皆様を対象として、実感などのアンケート調査を実施し、走行実感について聞き取りを実施します。

今後の展開

実証実験で調査したデータを元に、ハンプ設置による速度低減効果を検証し、本地区における速度抑制対策を検討するとともに、市内全域の生活道路の安全対策の検討にも活用していきます。

「ハンプ」とは

ハンプとは、自動車の走行速度を抑制するために路面に設けた凸部のこと。

ハンプの構造は、平成28年3月に国土交通省が定めた「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」に基づいた構造で、低速で走行する車両の運転手に対しても不快感を与えない、なめらかな形状となっています。

＜ハンプの構造＞

